

【横断型単元】 本町たんけんたい －はっけん！町のきらっとさん－

1年体育科 10月～12月 60Q 〈20時間〉
附属新潟小学校 教諭 三星 雄大

1 本単元で目指す姿

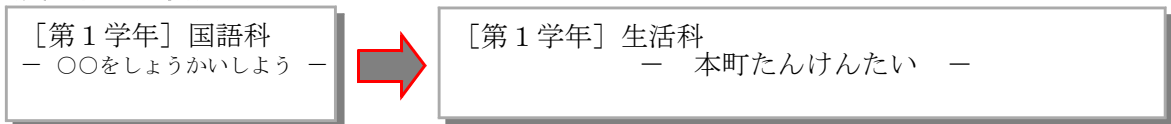
働く人の仕事への思いを理解し、自分の成長に気付く子ども

具体的には、「自分とのかかわりに着目する」「自分と働く人とを比較して考える」といった資質・能力を発揮しながら、働く人の仕事への思いを理解し、単元終末において、過去と現在の自分とを比較し、自分の成長に気付く子どもの姿

2 本単元で育成する資質・能力（評価規準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
生活科	<ul style="list-style-type: none"> ○働く人の仕事への思いを理解すること ○自分の成長に気付くこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と働く人を比べて相違点に気付く力 ○過去と現在の自分を比べる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○働く人と適切にかかわろうとする態度
国語科	<ul style="list-style-type: none"> ○簡単な構成を考えて文章を書く技能 ○つながりがある文章を書く技能 	<ul style="list-style-type: none"> ○考えたことや伝えたいことを言葉にする力 	

3 資質・能力の関連



4 単元の計画

	【学習活動】☆資質・能力〈評価基準〉	【働き掛け】	Q
国語科 (二次)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つのモデル文を比較し、より分かりやすい書き方に気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりになっている。 ・したことと気持ちが書かれている。 ○ モデル文の書き方を参考にして書くこととよいと見通しをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #ffffcc;"> <p>○ はじめ・中・おわりで書くとよい。したことと気持ちや理由を書くと分かりやすい。前と今を比べて書くと分かりやすい。 ☆知識・技能</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 2つのモデル文を提示し、どちらが分かりやすい文章なのかを理由と併せて問う。 ※ 構成の技能について共有する。 ◆ 本町のことを紹介することを提案し、どのように書くとよさそうかを問う。 	6Q 2時間
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語で学習した構成の技能を発揮しながら、文章を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本町のヒミツをたくさん知りたい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 町探検を行わせる（複数回）。 ◆ 「○○をしようかいしよう」の文章を書く時間を設定する。 	

○ 私は、ぶらっと本町のきらっとな商品を紹介します。一つ目は、富山洋傘専門店の着せ替え傘です。なんと、ビニールの所を外して付け替えられるのです。こんな傘は初めて見たからびっくりしました。二つ目は、堀川鮮魚のズワイガニです。私がびっくりしたのは、カニが動くことです。おいしそうなかを見て、たくさんのお客さんが買っていきそうです。本町は、きらっとな商品でいっぱいです。

☆国語科 知識・技能〈評価規準〉

「できたこと」

話すことが上手になりました。私は、ぶらっと本町に行ったらさいしょはあまり話せなかったけど、今は話せるようになりました。

☆生活科思考力・判断力・表現力〈評価規準〉

○ なぜその道具が大事なのかを追究せざるを得ない問いをもつ。

◆ 認識のずれを生むための道具を提示する。【働き掛け1】

○ どうして傘ではなくて、道具が一番大事なのかを聞きたい。

※ この後、働く人にインタビューをさせて、この問いを解決できる時間を設定する。

○ 私は、富山洋傘専門店で見たり聞いたりしたことを紹介します。富山さんに「どうして、傘を修理する道具が一番大事なのですか」と聞きました。すると、「修理できませんと言ったらかわいそうでしょ。だから直しているんだよ」と答えてくれました。私は、富山さんの答え方がとっても優しくかったからもっともお話をしたくなりました。富山さんのことがもっとももっと知りたいので、また会いたいです。

「できたこと」

探検に行く前に予想することができるようになりました。予想してから行くとはっきり分かるようになります。

○ 友達の発言を聞き、新たな願いが生まれる。 ☆ツール活用能力, 協働性

◆ 生活と関連のある事実を抽出する。【働き掛け2-①】

○ ブーメラン傘を直してもらおう。

◆ 新たな活動を提案する。【働き掛け2-②】

○ 働く人の大変さを実感することにつながる見通しをもつ。

○ 富山さんがブーメラン傘を直してくれていることを知ってびっくりしました。富山さんは簡単そうにしているけど、私たちには難しそうです。本当に大変なのか確かめたいです。

○ 働く人の大変さを実感し、働く人の仕事への思いを理解する。

◆ まねっこ活動を設定する【働き掛け3-①】
◆ 分かったことを問う。【働き掛け3-②】

○ 私は、富山さんのとってもすごいことを紹介します。富山さんは手に岩のように固いまめができていたことがすごいと思いました。まねっこ活動をしてみて私も傘の修理をしたけどまめは当然できませんでした。どうしてこんなに大変なことをやり続けるのが今日この場で分かりました。その理由は、お客さんの笑顔が見たい自分もそれが嬉しいからです。この気持ちは、他のお店でもそうかもしれないけど、富山さんは40年間も持ち続けるのがとってもすごいと思いました。私も友達や誰かを喜ばせることができるように生活していきます。

☆生活科 知識・技能, 思考力・判断力・表現力, 態度〈評価規準〉
☆国語科 知識・技能〈評価規準〉

「できたこと」

自信がもてるようになりました。理由は、まねっこ活動をして富山さんの話を聞いて、あきらめないことの大切さが分かったからです。

○ 自分の成長に気付く。 ☆ツール活用能力

◆ この学習において、できるようになったことは何かを問い、成長絵本に記述する時間を設ける。【働き掛け4】

○ おおきくなるってということは、人と仲良くなれるってこと。本町に行くたびに富山さんや他のお店の店員さんと話してどんどん仲良く話せるようになっていったからです。仲良くなると分かってふえて楽しくなります。仲良くなっていくと、言葉づかいも考えられるようになりました。教えられるんじゃないって自分で考えて自分でお店の人と話をしていて分かったことだから嬉しいです。

☆生活科 知識・技能〈評価規準〉